

杭施工精度管理システム

杭打ちキングPLUS



開発の背景

既成杭工事において、計測者と施工者、杭打機操縦者が、施工中の情報をタイムラグ無く共有できるようにし、安定した施工品質を確保することを目的として開発されました。

技術の用途

本技術は既成杭工事において、施工前の杭芯確認から施工時の各管理項目に対応しています。画面共有により、各フェイズの情報共有が可能となっています。



機能

杭打ちキングPLUS 4つの利点

品質向上

- ・工程別計測が可能（削孔・杭セット・杭埋設完了等）
- ・システムによる杭計測（水平位置・傾き）
- ・出来形自動登録（手書き不要）
- ・出来形データを CSV 出力可能

視覚化

- ・画面を見るだけで計測差異が見える
- ・カメラ画像で杭施工が見える
- ・全体出来形表示が見える

生産性の向上

- ・ワンマン杭芯計測が可能
- ・杭計測時の観測者が不要
- ・働き方改革に貢献

リアルタイム

- ・杭打機操縦者、施工者、事務所等で計測状況の画面共有が可能
- ・杭打機を止めずに連続計測が可能

導入効果

作業効率・施工精度の向上

関係者間での施工管理の見える化を実現

今後の可能性

- ① クランプメーターを用いて電流値を計測・システムへの数値のフィードバックを行う
統合型管理装置の構造上不可能だった支持層確認時の電流値のデータ共有が可能になる

技術の諸元

計測者と施工者、杭打機操縦者で画面共有することによりタイムラグのない管理が可能となるシステムです。

※ iPad・モバイル端末からの遠隔操作可能

